

競技上の注意

＜競技事項＞

1. 適用する競技規則・・・2025年度日本陸上競技連盟競技規則による。
2. 本大会は、招集所を設け、招集完了後は役員の指示で現地まで誘導を行う。
 - ・選手招集所は100mスタート付近室内走路内に設ける。
 - ・プログラム記載の招集開始時刻までに招集場所に集合すること。招集開始時刻より点呼を開始する。
 - ・招集完了時刻に遅れた者はその競技種目に出場できない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻前に招集所の役員にその旨を申し出て、役員の指示に従うこと。
 - ・すべての選手は棄権する場合、必ず招集開始時刻までに競技者係に棄権届けを提出すること。
 - ・リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の1時間前までに時間厳守で競技者係に提出すること。
3. 競技場は全天候型につき、9mm以下のスパイクピンを使用すること。
ただし、走高跳は12mm以内とする。
4. アスリートビブスのない者の出場を認めない。胸・背両方に付ける。（跳躍種目は除く）
5. 補助競技場の使用方法は、「春季陸上についてのお知らせ」に従い、練習種目の範囲などを守って使用すること。

＜トラック競技＞

1. トラック種目（100m, 200m, 100mH, 110mH）は、予選・決勝で行う。予選の記録のタイム順8名で決勝を行う。その他は、タイムレース決勝とする。
2. リレーで使用したテープは、競技後すぐに各自必ず取り除くこと。
3. 長距離種目（800m以上）は写真判定装置を用いるため、招集所で役員から配布された腰ナンバーを受け取り右腰（やや後方）に結着すること。レース後は、役員にすぐ返却すること。

＜フィールド競技＞

1. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。

走 高 跳	男 子	練 習	1 m 5 0 1 m 5 5, 1 m 6 0, 1 m 6 5, 1 m 7 0,
		1 m 4 5	1 m 7 5, 1 m 8 0 1 m 8 3

※状況により、試技開始の高さを変更する場合があります。

2. 走幅跳・砲丸投・円盤投は、必要に応じてパスラインを設けることがある。
3. 走幅跳はスタンド側をAピット（1組）、トラック側をBピット（2組）とする。
4. 走高跳は100mスタート側ピットで行う。
芝スタンド側をAピット（1組）、メインスタンド側をBピット（2組）とする。
5. 砲丸投はメインスタンド側芝ピットで行う。
6. 補助競技場での砲丸・円盤の使用を禁止する。なお、競技開始30分前より、競技場内において練習を行うことができる。

<その他>

1. 盗撮・不審者対応について

- ・競技会場で選手の家族や学校関係者がカメラ・ビデオ（タブレットやスマートフォンは除く）などの撮影機器を使用する際には、撮影許可証を携帯された方のみ撮影できる。
- ＊撮影許可証は、各団体代表者から受け取ること。
- ・報道等で撮影を行う場合は、必ず主催者が用意したビブスを着用すること。
- ・撮影対象が競技会方針と異なると思われる場合は、記録内容の確認を求めることがある。事案によっては、警察に引き継ぐこともある。

2. 写真・ビデオ等の撮影について（禁止事項）

- ① 競技者の保護者および本人の同意のない撮影。
- ② 撮影禁止区域での撮影。
- ③ 競技者がスターティングブロックの足合わせをしているときの撮影。
- ④ 試技を待っている間や、身体を動かしているときの撮影。
- ⑤ ホームストレート延長線上での撮影。
- ⑥ その他、事務局から禁止の指示があった撮影。

※撮影禁止エリアについて

- 1) 撮影禁止エリア（100mスタート・ゴール付近のメイン及び芝スタンド）での撮影はできません。
- 2) メインスタンド中央通路より前列と芝スタンドは、スマホ・タブレットのみ撮影可能とします。
- 3) ビデオカメラ、デジタルカメラ、一眼レフカメラなどは中央通路より上部のみ撮影可能とします。

3. 観戦場所と応援について

- ・メインスタンドダッグアウトについては、観戦者の緊急時避難場所として確保するため、場所取りやテントの設営などの使用を禁止する。
 - ・メインスタンドでの集団応援や立っての応援及びテントの設営は禁止する。
 - ・更衣室にシートを敷いての場所取りや独占は禁止する。待機場所ではないため、更衣終了次第すぐに退出すること。
- 「のぼり」「横断幕」の設置はメインスタンドの最上段のみとする。

4. コーチングエリアと助言について

- ・競技者に対する助力については、競技規則 TR6.4 を適用する。また、助言は、コーチングエリア内で行うことができる。ただし、メインスタンドからタブレット等の録画再生機器を競技区域内の選手に渡すことは、安全上、禁止とする。なお、映像等を見せる場合は、紐でぶら下げたり、身を乗り出したりするなどの危険な行為はしないこと。